

事業所名		児童発達支援にじいろ				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		1 日	
事業所の理念		「できた！」をふやして「自信」につなげる													
支援方針		・ 基本的な生活習慣を身に付け、社会性が育まれるような支援を進めていきます ・ 楽しい！おもしろい！嬉しい！と心が動かされるような体験、発見の場を提供することで五感を刺激し、成長のサポートに努めます ・ ご家庭との連携を大切にし、子どもたちの成長と一緒に見守ります													
営業時間		8 時		30 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・ 来所時や送迎時の子どもたちの様子を把握（視診、検温）し一人一人の健康状態を把握しています。 ・ 基本的な生活スキルの習得、ADLスキル獲得を支援します。（手洗い、衣類の着脱、トイレトレーニング、持ち物の管理、マナーやルール等） ・ 給食やおやつを提供し、活動の中でクッキングを取り入れ楽しみながら食育体験を行っています。													
	運動・感覚	・ 五感を十分に活用できるような運動遊びを設定し、運動機能、バランス感覚、距離感、力の加減等の発達を促します。 ・ 全身を大きく動かすまとまりのある動き（粗大運動）：体操やサーキット遊び、パラバルーンやハンドベルを使った表現遊び、ボール遊び、鉄棒や跳び箱、縄跳び、マット等 ・ 細かくて複雑な運動（微細運動）：玩具遊び、感覚遊び、ハサミやのりを使った工作遊び、粘土、スライム、お絵描き、運筆等													
	認知・行動	・ 個々に理解できる範囲や認知特性に合わせて、情報を聞いて行動に繋がれるような遊びを提供し、その際は声掛けの量や、タイミング、視覚支援の活用を行います。 ・ 身体の部位、色や数、大小、長短、高低といった比較、分類に関する基本的な概念、言語理解等、認知発達を促すためのサポートを行います。 ・ 見立て遊びや模倣を楽しむことから始め、物の名称や記憶の定着をスモールステップで行います。													
	言語コミュニケーション	・ 楽しい！と感じる遊びを通じて、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける経験を重ねることで、言語の習得ができるように支援します。 ・ 口腔体操や全身の大きな動きを楽しみながら、全身の緊張をほぐしながら発声を楽しみます ・ 相手の気持ちや意図を理解したり、自分の考えを伝えられる表現方法で表出するサポートを行います。													
	人間関係社会性	・ 集団活動への参加や、遊びの中で小集団だからこそできる個々に応じた支援を行い、社会性や人間関係の構築を支援します。 ・ ルールのある遊びやソーシャルスキル等を通して、ルールを守ること（順番、交代）や指示を聞いて行動すること、挨拶や謝罪、返事をするなどの対人関係において基本となる関わり方や接し方を学ぶためのサポートを行います。同時に、その時に生まれる気持ちや行動の調整をサポートしています。													
家族支援		・ ご家族が安心して子育てを行うことができるよう、また様々な不安が軽減できるようにお子さんの発達上の課題についての気づきを促したり、ご自宅での様子を伺い、相互に状況を共有していきます。						移行支援		・ 就学に向けての情報提供や支援を行います ・ 保育所等との連携をはかり、支援体制を構築していきます ・ インクルーシブの観点から隣接した保育園との集団遊びを体験します					
地域支援・地域連携		・ 保育所等や関係機関と必要に応じて連絡を取り、情報共有していきます ・ 地域の公民館などに訪問し、触れ合いを持つ時間をとっています						職員の質の向上		・ 虐待防止（身体拘束）に関する研修・防犯、災害に関する学び ・ 事故防止、感染症に関する研修 ・ 日々の振り返りの時間を持っています					
主な行事等		・ お散歩、誕生日会、家族の日のプレゼント作り、七夕、水遊び、夏祭り、運動会ごっこ、ハロウィン、劇遊び、クリスマス会、お正月遊び、節分（豆まき）、卒所式 等													